

道徳4年

4年-No.1	心をこめたあいさつ	◎B 礼儀③	4月(1時間)
ねらい	自分から笑顔であいさつをすることで、相手との人間関係が深まることに気付き、誰に対しても真心を込めた挨拶をして生活しようとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	あいさつ(自作)		
主題構成の理由	導入では、先にあいさつをしなかったり、ふざけながらあいさつをしたりしている登場人物の姿から、自分から先に笑顔であいさつをすることについて問題意識をもつことができる。展開では、あまり話したことがない友達が先に主人公にあいさつをした理由に着目して考えることで、自分から笑顔であいさつをすることで、相手との人間関係が深まることに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○教科書の「ゆたかな心」を読み、道徳の学習の仕方を知る。 ○自分の挨拶の仕方を振り返り、学習課題「自分から笑顔であいさつをすると、どのようなよいことがあるのだろう」を考える。		
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり、誰に対しても真心を込めた挨拶をして生活することのよさについて、自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】			

道徳4年

4年-No.2	みんなのために何ができるか	◎C 勤労、公共の精神③	4月(1時間)
ねらい	みんなのために掃除をすることで、集団生活が向上することに気付き、身の回りの生活で、自分ができる仕事を見付け、取り組もうとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	みんなのためにできること		
主題構成の理由	導入では、朝早くに掃除をすることに面倒くささを感じている主人公の姿から、進んでみんなのために働きたいと思ってもなかなか実現することができないことがあるという問題意識をもつことができる。展開では、主人公が進んで掃除をするようになった理由に着目して考えることで、みんなのために掃除をすることで、集団生活が向上することに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○進んでみんなのために働くことについて自分の過ごし方を振り返り、学習課題「どうしてみんなのために進んで働くのだろう」を考える。		
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり、身の回りの生活で、自分ができる仕事を見付け、取り組もうとすることのよさについて、自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】 ・関連-学級活動「4年生になって」			

道徳4年

4年-No.3	思いやりのリレー	B 親切, 思いやり ③	4月(1時間)
ねらい	相手の置かれている状況や気持ちを自分のこととして想像することによって, 相手のことを考えられることに気付き, 親切な行為を自ら進んで行うことができるような道徳的判断力を養う。		
教材	かさ		
主題構成の理由	導入では, かさをさして帰ろうとするときに, 困った顔をしている二年生の子のことを気にする主人公の姿から, 相手のことを思いやり, 進んで親切にすることについて問題意識をもつことができる。展開では, 主人公がかさを貸してあげようと気持ちが変わった理由に着目することで, 相手のことを思いやり, 進んで親切にすることのよさや難しさを考えることができ, 相手の置かれている状況を想像することの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○年下の子が困っているときに助けたことについて自分の生活を振り返り, 学習課題「どうして年下の子の様子が気になるのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, 親切にすることのよさについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳4年

4年-No.4	明るく楽しいクラス・学校づくり	C よりよい学校生活, 集団生活の充実 ②	5月(1時間)
ねらい	教師や友達の支えや励ましがあって, 楽しい学校生活を送ることができることに気付き, 教師や友達に感謝の気持ちを持ち, 互いに協力してよりよい学校づくりをしていこうとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	えがおの花大作戦		
主題構成の理由	導入では, 教師や友達に応援されたり, 励まされたりしてさか上がりを成功させる主人公の姿から, 友達や教師と互いに協力し合うクラスについて問題意識をもつことができる。展開では, 主人公が教師や友達に支えられた際の気持ちに着目して考えることで, 教師や友達の支えや励ましの中で, 楽しい学校生活を送ることができることに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくることについて自分の生活を振り返り, 学習課題「自分たちのクラスをどのようなクラスにしたいのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, 友達や教師に感謝の気持ちを持ち, 互いに協力し, よりよいクラスにしていくことのよさについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】 ・関連-学級活動「学級目標に近付こう」			

道徳4年

4年-No.5	心を落ち着かせて	A 節度, 節制③	5月(1時間)
ねらい	節度ある生活を送るために, 自分自身で考えて度を過ごすことなく生活することが大切であることに気付き, 節度ある生活を送ることができる道徳的判断力を養う。		
教材	深く息をすって		
主題構成の理由	導入では, オンラインゲームをしていて, 熱中するあまり自分勝手な言動をとる主人公が, プログーマーの言葉から自分が落ち着くことが大切だと気付いた姿から, 子どもたちは落ち着いた生活を送ることについて問題意識をもつことができる。展開では, プログーマーの言葉を聞く前と後の主人公の気持ちに着目して考えることで, 落ち着いた生活を送るために, 自分自身で考えて度を過ごすことなく生活することが大切であることに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○物事に熱中しすぎてしまったときの自分の気持ちを振り返り, 学習課題「落ち着いて行動するためにどうしたらよいのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, 自分自身で考えて落ち着いた生活を送ることの大切さについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳4年

4年-No.6	やりとげる力	◎ A 希望と勇気, 努力と強い意志③	5月(1時間)
ねらい	目標を達成するためには, あきらめずに粘り強く取り組む強い意志が大切であることに気付き, あきらめずに粘り強く取り組んでいこうとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	ノーベル賞の生みの親 -アルフレッド・ノーベル-		
主題構成の理由	導入では, 困難があってもそれを乗り越え, 努力し続ける主人公の姿から, 困難を乗り越えて目標を達成することについて問題意識をもつことができる。展開では, 主人公が困難を乗り越えて努力し続けた理由に着目して考えることで, 目標を達成するためには, あきらめずに粘り強く取り組む強い意志が必要であることに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○目標を達成するために粘り強く取り組むことについて自分の過ごし方を振り返り, 学習課題「大変なことがあっても, 努力を続けるためにはどうすればよいのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, あきらめずに粘り強く取り組んでいくことについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳4年

4年-No.7	みんなが気持ちよく	C 規則の尊重③	6月(1時間)
ねらい	みんなが気持ちよく暮らすために、きまりがあることを理解し、それらを守ることが大切であることに気づき、きまりを守って生活しようとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	どっちがいいか		
主題構成の理由	導入では、ルールがなくて争いが起こったので、ルールをつくって生活すると、窮屈に感じたりする人々の姿から、約束や社会のきまりの意義に問題意識をもつことができる。展開では、「あさひ村のルール」を基に、ルールの必要性に着目して考えることで、みんなが気持ちよく暮らすために、きまりがあることを理解し、それらを守ることの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○日常生活におけるきまりやルールについての自分の過ごし方を振り返り、学習課題「どうすれば、みんなが気持ちよく暮らせるようになるのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり、きまりを守って生活することについて、自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】			

道徳4年

4年-No.8	強い心	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任③	6月(1時間)
ねらい	サッカーを続ける友達を止めた理由について話し合うことを通して、充実した気持ちで生活することができるように、自らが正しいと判断したことを、自信をもって行おうとする道徳的判断力を養う。		
教材	サッカーボールをかかえて		
主題構成の理由	導入では、サッカーをする友達を止めた主人公の行為についての感想や疑問を話し合うことで、子どもたちは正しいと判断したことを自信をもって行うことの大切さについての問題意識を高めることができる。展開では、ボールを抱えてまでサッカーをしている友達を止めたときの主人公の理由に着目して考えることで、正しいと判断したことを自信をもって行うことの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○正しいと思ったことについて、自分の生活を振り返り、学習課題「どうして遊びをやめてまでサッカーを続ける友達をとめたのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。	◇正しいと判断したことを自信をもって行うことの大切さについて、多面的・多角的に考えたことや、自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント>	
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】			

道徳4年

4年-No.9	相手のことを理解する	B 相互理解, 寛容③	6月(1時間)
ねらい	友達のことを理解し, 違いを受け入れて生活できるように, 友達と自分との違いを受け入れたりその裏側にある気持ちを大切にしたりして接しようとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	貝がら		
主題構成の理由	導入では, 友達に話しかける登場人物や, 話しかけられても方言を気にして友達と話そうとしない登場人物の姿から, 相手のことが分からないことについての問題意識をもつことができる。展開では, 主人公が友達のことを知っていく過程に着目して考えることで, 子どもたちは友達のことを理解し, 違いを受け入れて生活することの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○違いがある友達との関わり方への自分たちの気持ちを話し合い, 学習課題「友達のことを理解するには, どうすればよいのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, 友達と自分との違いを受け入れたりその裏側にある気持ちを大切にしたりして接しようとするということについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳4年

4年-No.10	心の弱さ	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任④	6月(1時間)
ねらい	してはいけないと分かっていることをしないという判断をし, をれを自信をもって行おうとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	心にブレーキ		
主題構成の理由	導入では, してはいけないと分かっていることをしてしまった主人公の姿から, 子どもたちは心の弱さに負けてしまい間違っただ判断をしてしまうことについての問題意識をもつことができる。展開では, 一度間違っただ判断をした後に, 主人公がその経験を生かした判断をしようとする姿に着目して考えることで, 子どもたちは正しいと判断したことを自信をもって行うことの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○善悪の判断ができた時とできなかった時の自分たちについて話し合い, 学習課題「どうして, 判断が変わったのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 友達に誘われてもしてはいけないことはしない判断して行動することの大切さについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳4年

4年-No.11	社会のきまり	C 規則の尊重④	7月(1時間)
ねらい	社会のルールやマナーの意味を考え、守っていこうとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	雨のバス停留所で		
主題構成の理由	導入では、バス停で雨宿りをしながら自分たちよりも早くからバスを待っていた人よりも、先にバスに乗ろうとした主人公の姿から、子どもたちは並んだ順を守ろうとすることについての問題意識をもつことができる。展開では、自分の行動を振り返った主人公の気持ちに着目することで、子どもたちは、社会のルールやマナーの意味を考え、守っていくことの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○身近なルールやマナーと自分の生活との関わりを振り返り、学習課題「どうして、ルールやマナーを守るのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり、社会のルールやマナーを守って生活することについて、自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】			

道徳4年

4年-No.12	美しいものに感動する	D 感動、畏敬の念②	7月(1時間)
ねらい	自然の美しさに気付き、美しいものに感動する道徳的心情を養う。		
教材	十さいのプレゼント		
主題構成の理由	導入では、十歳のプレゼントでどのようなものをもらえるか期待する主人公の姿から、山の頂上からの景色がプレゼントであったことについて問題意識をもつことができる。展開では、日の出の際に考えた主人公の気持ちに着目して考えることで、美しいものや気高いものに感動する心をもつために、美しいものや気高いものに意識的に触れようとするものの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○最近もらったプレゼントを振り返り、学習課題「美しい景色をプレゼントされたとき、どのようなことを考えたのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり、自然の美しさについて、自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】 ・関連-学校行事「林間学校」			

道徳4年

4年-No.13	お母さんの心	C 家族愛, 家庭生活の充実③	9月(1時間)
ねらい	家族みんなで楽しい生活を送るために, 家族の一員として家庭生活に協力しようとする道徳的心情を養う。		
教材	お母さんのせいきゅう書		
主題構成の理由	導入では, 手伝いを行った見返りとしてお金を請求する主人公とお金を請求しないお母さんの姿から, 子どもたちは無償で家庭生活に協力することについて問題意識をもつことができる。展開では, 主人公がお母さんに謝ってお金を返したときの気持ちを考えることで, 子どもたちは家族みんなで楽しい生活を送ることの素晴らしさについて考えることができ, 家族の一員として家庭生活に協力しようとするこの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○家庭でのお手伝いについて振り返り, 学習課題「どうしてお手伝いをするのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 家族の一員として家庭生活に協力しようとするこのことについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳4年

4年-No.14	ささえる人たちへのそんけいとかんしゃ	B 感謝③	9月(1時間)
ねらい	生活を支えてくれている人に感謝の気持ちをもって接するために, 自分が様々な人に支えられていることについて考えようとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	石油列車, 東北へ向かって走れ!		
主題構成の理由	導入では, 線路が列車の重みに耐えられるか調査をしたり, 運転の訓練を受けたりして東北へ石油を運ぶことができたという話を聞いた主人公について自分の生活と照らし合わせながら話し合うことで, 生活を支えてくれている人に感謝の気持ちをもって接することについて問題意識をもつことができる。展開では, 主人公が東北へ石油を運ぶ人々への気持ちに着目することで, 子どもたちは生活を支えてくれている人に感謝の気持ちをもって接することについて考えることができ, 自分が様々な人に支えられていることを考えるこの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○最近, 感謝したことについて自分の生活を振り返り, 学習課題「どんな人が自分たちの生活を支えてくれているだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 自分が様々な人に支えられていることについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】 ・R03, R04, R05は実習資料として扱った。			

道徳4年

4年-No.15	一人の命の大切さ	◎D 生命の尊さ③	9月(1時間)
ねらい	命は多くの人々によって生まれていると考えるために、苦しんでいる人を支えようとする道徳的心情を養う。		
教材	五百人からもらった命		
主題構成の理由	導入では、多くの人が献血を申し出たり、医師が全力をあげてがんばったりする姿について自分の生活と照らし合わせながら話し合うことで、子どもたちは多くの人々が命を救おうとしていることについて問題意識をもつことができる。展開では、多くの人が命を救おうとした理由に着目することで、子どもたちは命は多くの人々によって生まれていると考えることができ、苦しんでいる人を支えようとする心情の大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○命の大切さについて自分の生活を振り返り、学習課題「どうして多くの人々が命を救おうとするのだろうか」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて、多面的・多角的に考えたり、苦しんでいる人を支えようとするについて自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】			

道徳4年

4年-No.16	心をこめて	◎B 礼儀④	9月(1時間)
ねらい	真心を態度で表すために、礼儀の大切さを知り挨拶をしっかりとすることで、相手に真心をもって接しようとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	「いただきます」「ごちそうさま」		
主題構成の理由	導入では、「いただきます」「ごちそうさま」という挨拶に、いつもと違う感覚を覚えた主人公の姿から、子どもたちは挨拶をすることや、その意味についての問題意識をもつことができる。展開では、主人公が、「いただきます」「ごちそうさま」という挨拶にいつもと違う感覚を覚えた理由に着目することで、子どもたちは、礼儀や相手に真心をもって接しようとするこの大切さに気付くことができる		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○今までに書いた手紙について振り返り、学習課題「どうして、「いただきます」や「ごちそうさま」を言うのだろうか」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて、多面的・多角的に考えたり、礼儀の大切さを知り挨拶をしっかりとすることや相手に真心をもって接することについて自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】			



道徳4年

4年-No.17	公正な態度で	C 公正, 公平, 社会正義②	10月(1時間)
ねらい	私心にとられず, 誰に対しても分け隔てなく接するために, 誰に対しても公正な判断をしていこうとする道徳的判断力を養う。		
教材	良太のはんだん		
主題構成の理由	導入では, 判断に迷ったり, 仲のよい友達をひいきしてしまったりする主人公について, 自分の生活と照らし合わせながら話し合うことで, 子どもたちは私心にとられず, 誰に対しても分け隔てなく接しようと思っけていてもなかなか実現することができないことがあるという問題意識をもつことができる。展開では, 主人公が正しい判定をすることができた理由に着目することで, 子どもたちは私心にとられず, 誰に対しても分け隔てなく接することのよさや難しさを考えることができ, 誰に対しても公正な判断をしていこうとするこの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○ひいきをすることについて自分の生活を振り返り, 学習課題「どうしたら, 仲の良さに関係なく, 平等な判断をすることができるのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 誰に対しても公正な判断をしていこうとすることについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】 ・R03, R04は実習資料として扱った。			

道徳4年

4年-No.18	自分に正直に	A 正直, 誠実②	10月(1時間)
ねらい	正直に明るい心で生活するために, 過ちを素直に反省し伝えようとする道徳的判断力を養う。		
教材	ぼくはMVP		
主題構成の理由	導入では, 試合に勝ったときのみんなや主人公の気持ちを比較し, 自分の生活と照らし合わせながら話し合うことで, 子どもたちは正直に明るい心で生活しようと思っけていてもなかなか実現することができないことがあるという問題意識をもつことができる。展開では, 主人公の今後の行動に着目することで, 子どもたちは正直に明るい心で生活することのよさや難しさを考えることができ, 過ちを素直に反省し伝えるこの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○正直に行動することについて自分の生活を振り返り, 学習課題「どうしたら自分の間ちがいを素直に反せいし, 伝えることができるのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 過ちを素直に反省し伝えようとするこのことについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳4年

4年-No.19	度がすぎないために	A 節度, 節制⑤	10月(1時間)
ねらい	家で自立した生活を送るために, 自分自身で考えて度が過ぎることなく生活しようとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	心の体温計		
主題構成の理由	導入では, どこまでいけば「度がすぎた」ことになるか考えている主人公について自分の生活と照らし合わせながら話し合うことで, 子どもたちは自立した生活を送ろうと思っていてもなかなか実現することができないことがあるという問題意識をもつことができる。展開では, 主人公がすっきりした気持ちでいられる理由に着目することで, 子どもたちは自立した生活を送ることのよさや難しさを考えることができ, 自分自身で考えて度が過ぎることなく生活しようとすることの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○ゲームやテレビの時間, 部屋の整理整頓などの自分の生活を振り返り, 学習課題「どうしたらすっきりした気持ちで生活することができるのだろう」をつかむ。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 自分自身で考えて度を過ぎることなく生活しようとするについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳4年

4年-No.20	チームのよろこびを自分のよろこびに	◎C 勤労, 公共の精神④	11月(1時間)
ねらい	自分から進んで働くために, 自分の役割を果たし, みんなの役に立とうとする道徳的心情を養う。		
教材	ホペイロのヤマさん		
主題構成の理由	導入では, サッカーチームのために献身的に働く中で大失敗をしてしまった主人公について自分の生活と照らし合わせながら話し合うことで, 子どもたちは, 働くことの大切さや大変さについての問題意識をもつことができる。展開では, 主人公が, 大失敗をしても立ち直り, またチームのために働いた理由に着目することで, 子どもたちは自分から進んで働くことのよさや難しさを考えることができ, 自分の役割を果たし, みんなの役に立とうとすることの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○仕事をするときの自分の取り組み方や気持ちについて振り返り, 学習課題「どうして, 人のために働くのだろう」をつかむ。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 自分の役割を果たし, みんなの役に立とうとするについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳4年

4年-No.21	しぜんのふしぎ	D 自然愛護③	11月(1時間)
ねらい	自然のすばらしさに気付くために、動植物の行動や不思議さを想像したり感じたりして、自然を大切にしようとする道徳的心情を養う。		
教材	しぜんを守るエゾリス		
主題構成の理由	導入では、とても小さな動物であるエゾリスの行動が北海道の大地を守っていることから、子どもたちは動植物の行動や不思議さについての問題意識をもつことができる。展開では、つるたちが一枚の白いあみをつくることができた理由に着目することで、子どもたちは生き物の行動の気高さを考えることができ、生き物の行動の意味を想像したり、感じたりすることの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○生き物の行動の素晴らしさについて自分の経験を振り返り、学習課題「動物や植物と、どう関わっていけばよいのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて、多面的・多角的に考えたり、動植物の行動や不思議さを想像したり、感じたりしたことについて自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】			

道徳4年

4年-No.22	広い心をもって	B 相互理解, 寛容②	11月(1時間)
ねらい	お互いに相手の考えを受け入れながら前向きな話し合いができるように、自分と異なる相手の考えを受け入れた言動をしようとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	学級新聞作り		
主題構成の理由	導入では、心が晴れない主人公についての感想や疑問を話し合うことで、子どもたちは相手の考えを受け入れた言動をすることの大切さについて、問題意識を高めることができる。展開では、主人公のとるべき行動とその行動をとったときの主人公や友達の気持ちに着目して考えることで、自分と異なる相手の考えを受け入れた言動をすることの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○友達と意見が合わなかったことについて自分の生活を振り返り、学習課題「友達と意見が合わないときは、どうするとよいのだろう」をつかむ		
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて、多面的・多角的に考えたり、自分と異なる相手の考えを受け入れた言動をすることについて自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】			

道徳4年

4年-No.23	よい友だちになるために	○B 友情, 信頼④	12月(1時間)
ねらい	よい友だちになるために, 友達のよいところを見付けようとする道徳的心情を養う。		
教材	ブラジルからの転入生		
主題構成の理由	導入では, ブラジルからの転入生がサッカーが上手でない様子を見てがっかりする主人公の姿から自分の生活と照らし合わせながら話し合うことで, 子どもたちは友達を一面的にしか見ていないことに問題意識をもつことができる。展開では, 主人公が転入生と友達になれそうだった理由に着目することで, 子どもたちはよい友だちになることの難しさについて考えることができ, 友達のよいところを見付けることの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○仲のよい友達について自分の経験を振り返り, 学習課題「どうしたらよりよい友達になれるのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 友達のよいところを見付けることについて自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】 ・R04人権週間に行われる道徳一斉授業で扱った。			

道徳4年

4年-No.24	国をこえてつながる心	C 国際理解, 国際親善②	12月(1時間)
ねらい	自国の文化と他国の文化のつながりに関心をもつために, 自国の文化と他国の文化を比べようとする道徳的心情を養う。		
教材	さくらのかけ橋		
主題構成の理由	導入では, 百年以上も前に日本からアメリカへさくらが送られたことや日本の文化に親しむイベントがあることを聞いたりする主人公について自分の生活と照らし合わせながら話し合うことで, 子どもたちは自国の文化と他国の文化のつながりに関心をもつことに問題意識をもつことができる。展開では, 主人公がジェフ先生とつながった理由に着目することで, 子どもたちは自国の文化と他国の文化のつながりに関心をもとうとすることができ, 自国の文化と他国の文化を比べようとすることの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○自分の知っている海外の文化について自分の生活を振り返り, 学習課題「どうして他国の文化を知ろうとすることはよいことなのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 自国の文化と他国の文化を比べることについて自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】 ・R05人権週間に行われる道徳一斉授業で扱った。			

道徳4年

4年-No.25	本当の思いやり	B 親切, 思いやり④	12月(1時間)
ねらい	親切な行為を自ら進んで行うために, 相手の置かれている状況や困っていることを考えて行動しようとする道徳的心情を養う。		
教材	せきが空いているのに		
主題構成の理由	導入では, 主人公が目が見えない人のことを気にしたり, お父さんが話しかけたりすることについて自分の生活と照らし合わせながら話し合うことで, 子どもたちは親切な行為を自ら進んで行おうと思ってもなかなか実現することができないことがあるという問題意識をもつことができる。展開では, 主人公がうれしくなった理由に着目することで, 子どもたちは親切な行為を自ら進んで行うことのよさや難しさを考えることができ, 相手の置かれている状況や困っていることを考えて行動することの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○バスや電車での過ごし方について自分の生活を振り返り, 学習課題「どうしたら困っている人の力になることができるだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 相手の置かれている状況や困っていることを考えて行動することについて自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】 ・関連-学校行事「人権週間」			

道徳4年

4年-No.26	しんじ合う力	○B 友情, 信頼⑤	1月(1時間)
ねらい	仲間のことを信頼し, 助け合っていくことのよさに気付き, 友達と協力して生活していこうとする道徳的心情を養う。		
教材	ONE TEAM -ラグビー日本代表-		
主題構成の理由	導入では, チームをよくしようと意見をぶつけ合い, 互いを理解しようと努力を惜しまない登場人物たちの姿から, 信じ合える仲間をつくることについての問題意識をもつことができる。展開では, 登場人物のそれぞれの思いについて考えることで, 子どもたちは友達のことを信頼し, 助け合っていくことのよさに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○よりよい仲間についての感想や疑問を話し合い, 学習課題「どうして, 仲間を信頼し協力し合うのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 友達のことを信頼し, 助け合っていくことについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】 ・関連-学校行事「なわとび大会」			

道徳4年

4年-No.27	重なり合うように	○B 友情, 信頼⑥	1月(1時間)
ねらい	よりよい学校生活を送るために, 友達を信頼し, 協力し合おうとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	「祭り日」		
主題構成の理由	導入では, 全体練習では演奏が上手にできない主人公たちの姿から, 子どもたちはみんなが協力することの良さに気付いていても, なかなか実現することができないことがあるという問題意識をもつことができる。展開では, みんなの心が重なり合ってきた理由に着目して考えることで, 友達を信頼し協力し合うことの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○音が重なり合うように練習をする主人公についての感想や疑問を話し合い, 学習課題「友達と協力するときに大切なことは何だろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 友達を信頼し, 協力し合うことについて自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】関連・学習発表会			

道徳4年

4年-No.28	自分がかがやかせるために	A 個性の伸長②	1月(1時間)
ねらい	自分を輝かせるために, 自分の特徴に気付き, 長所を伸ばそうとする道徳的心情を養う。		
教材	わたしのゆめ		
主題構成の理由	導入では, 画家になると決心した主人公の姿から, 子どもたちは自分の夢をもつということに問題意識をもつことができる。展開では, 主人公が画家になると決心した理由に着目して考えることで, 子どもたちは自分の長所を伸ばすことが自分を輝かせることにつながることに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○画家になると決心した主人公についての感想や疑問を話し合い, 学習課題「自分のよさを伸ばしていくとどんなよいことがあるのだろうか」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 自分の特徴に気付き, 長所を伸ばそうとすることについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳4年

4年-No.29	自分のゆめをもつ	◎A 希望と勇気, 努力と強い意志④	2月(1時間)
ねらい	自分で決めた目標を達成するために, 自分なりの目標を立て, 粘り強く努力しようとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	とべ! ペットボトルロケット		
主題構成の理由	導入では, ペットボトルロケットの打ち上げがうまくいかなかったり, ペンシルロケットの打ち上げ実験を何回も行う話を聞いたりする主人公について自分の生活と照らし合わせながら話し合うことで, 子どもたちは自分で決めた目標を達成したいと思っけていてもなかなか実現することができないことがあるという問題意識をもつことができる。展開では, 主人公が大会で満足した理由に着目することで, 子どもたちは自分で決めた目標を達成することのよさや難しさを考えることができ, 自分なりの目標を立て, 粘り強く努力することの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○将来の夢や希望について自分の過ごし方を振り返り, 学習課題「どうしたら, 自分の気持ちを満足させることができるだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 自分なりの目標を立て, 粘り強く努力しようとするということについて自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳4年

4年-No.30	当たり前生活をささえる人々	B 感謝④	2月(1時間)
ねらい	自分たちの生活を支える仕事をしている人たちに, 尊敬と感謝の気持ちをもって接しようとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	つたえたい「ありがとう」		
主題構成の理由	導入では, 自分たちの生活を支える仕事をしている人たちがたくさんいることに気付き感謝の気持ちをもった主人公の姿から, 感謝の気持ちを伝えようとするということについての問題意識をもつことができる。展開では, 主人公が「ありがとう」と伝えたい気持ちでいっぱいになった理由に着目して考えることで, 子どもたちは自分たちの生活を支える仕事をしている人たちに尊敬と感謝の気持ちをもって接することの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○自分たちの生活を支える仕事をしている人への自分たちの気持ちを話し合い, 学習課題「どうして, 感謝の気持ちをもって接するのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, 自分たちの生活を支える仕事をしている人に尊敬と感謝の気持ちをもって接することの大切さについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳4年

4年-No.31	命に向き合う	◎D 生命の尊さ④	2月(1時間)
ねらい	一つしかない生命の尊さや一生懸命に生きることのすばらしさに気付き、尊い生命を大切にしようとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	せいっぱい生きる -命の詩-		
主題構成の理由	導入では、闘病の末亡くなってしまった登場人物の詩から、尊い生命を大切に精一杯生きようとする事への問題意識をもつことができる。展開では、亡くなってしまった登場人物を慮る主人公の気持ちに着目して考えることで、一つしかない生命の尊さや一生懸命に生きることのすばらしさに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○生命の尊さについて、自分の生活を振り返り、学習課題「精一杯生きるとは、どういうことだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり、尊い生命について、自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】			

道徳4年

4年-No.32	しぜんとともに生きる	D 自然愛護④	2月(1時間)
ねらい	人間も動物も同じ自然環境の中で生活していることに気付き、動物が生きる自然環境を守り共生しようとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	アカウミガメの来るはま		
主題構成の理由	導入では、アカウミガメの生態について知りアカウミガメを守ろうとした登場人物の気持ちから、自然と共生することについての問題意識をもつことができる。展開では、アカウミガメや産卵場所になる浜を保全する取組を行う理由に着目して考えることで、子どもたちは自然のすばらしさや自然環境保護の必要性に気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○アカウミガメの生態や人が及ぼす影響についての感想や疑問を話し合い、学習課題「どうして動物や自然のことを考えて行動するのだろうか」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて、多面的・多角的に考えたり、動物が生きる自然環境を守り共生しようとする事について、自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】 ・関連-理科「動物の活動や植物の生長の様子を1年間調べよう」			



道徳4年

4年-No.33	生まれた日のこと	C 家族愛，家庭生活の充実④	3月(1時間)
ねらい	家族が自分に対して愛情をもって育ててくれていることを知り，家族のために役立っていこうとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	ぼくの生まれた日－ドラえもん－		
主題構成の理由	導入では，生まれたときの家族の様子を見たり，名前の由来を聞いたりする主人公の姿から，子どもたちは自分に対する家族の願いについての問題意識をもつことができる。展開では，主人公が家族の願いに伝えたいと思った理由に着目して考えることで，家族が自分に対して愛情をもって育ててくれていることを知り，家族のために役立つことの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○自分が生まれたときのことを見たり聞いたりする主人公についての感想や疑問を話し合い，学習課題「なぜ家族の願いに伝えようとするのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて，多面的・多角的に考えたり，家族のために役立つことをすることについて，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り，分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し，発表し合う。		
【備考】 ・関連－学校行事「感謝の集会」 ・関連－国語「感謝の気持ちを伝えよう」			

道徳4年

4年-No.34	住むまちをほこりに思う心	C 伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度③	3月(1時間)
ねらい	地域の伝統の素晴らしさを知り，地域の文化を受け継ぎ，引き継ごうとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	ねがいをつみ上げた石橋		
主題構成の理由	導入では，石橋ステーションのおじさんに石橋についての話を聞く主人公の姿から，子どもたちは伝統を引き継ぐことについて問題意識をもつことができる。展開では，主人公が石橋を誇りに思うようになった理由に着目して考えることで，地域の伝統の素晴らしさを知り，地域の文化を受け継ぎ，引き継ぐことの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○石橋についての話を聞く主人公についての感想や疑問を話し合い，学習課題「これから伝えていきたい地域の文化はどのようなものがあるだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて，多面的・多角的に考えたり，地域の文化を受け継ぎ，引き継ぐことについて，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り，分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し，発表し合う。		
【備考】			

道徳4年

4年-No.35	郷土の文化や伝統を大切に する心	C 伝統と文化の尊 重, 国や郷土を愛する 態度④	3月(1時間)
ねらい	自分たちの郷土の文化の素晴らしさに気づき, 郷土の伝統をより詳しく知ろうとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	世界遺産の富岡製糸場(ぐんまの道徳)		
主題 構成 の理 由	導入では, ガイドさんから富岡製糸場について詳しく話を聞く主人公の姿から, 子どもたちは郷土の文化のよさを知らないことについての問題意識をもつことができる。展開では, 富岡製糸場が最初に見たときよりもさらに大きく見えた理由に着目することで, 自分たちの郷土の文化の素晴らしさに気づき, 郷土の伝統をより詳しく知ろうとする思いを高めることができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○ガイドさんから富岡製糸場について詳しく話を聞く主人公についての感想や疑問を話し合い, 学習課題「どうして富岡製糸場は大きく見えたのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて, 多面的・多角的に考えたり, 郷土の伝統をより詳しく知ることについて自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			